

リフレッシュ理科教室決算報告書 (1/2)

(公社)応用物理学会
教育企画委員会 委員長殿

令和 3年 11月 19日

開催支部または分科会 (支部・分科会以外に共催がある場合はすべてお書きください) : 応用物理学会中国四国支部、岡山理科大学科学ボランティアセンター (共催)	
開催責任者 (支部長または分科会幹事長) :	山田 容士(島根大学) 公印略
開催連絡責任者 :	米田 稔 (岡山理科大学)
連絡先 : 〒700-0005 岡山市北区理大町 1-1 TEL 086-256-9402	

下記のとおりご報告いたします。

(全会場分の収支を纏めてご記載, もしくは会場毎収支のご記載, どちらでも問題ありません。
会場毎収支をご報告の場合は当ページを会場数分複製の上, ご報告ください。オンライン会場と
対面実施会場は該当ページを複製し, 分けてご報告ください)

事業名 : リフレッシュ理科教室 新しい理科実験の習得とスキルアップ講座 2021	
リフレッシュ理科教室補助金額 : 180,000 円	
開催日 : 令和 3年 11月 21日(日)	
開催場所 : 岡山理科大学	
決 算 (収入合計と支出合計は同額になります) (単位: 円)	
収 入	支 出
リフレッシュ理科教室補助金 180,000 円	印刷製本費 (資料・チラシ作成等) 86,790 円
参加費	賃借料 (会場費・プロジェクター等) 0 円
広告展示料	会議費 (弁当代等) 26,227 円
支部分科会からの支援金 270,000 円	通信運搬費 (郵送料等) 39,470 円
企業からの協賛金	消耗品費 (実験材料・文具代等) 176,151 円
助成金 (県・市など)	臨時雇賃金 【支払人数計 7 名】 (アルバイト賃金等) 45,300 円
	諸謝金 【支払人数計 1 名】 (講師謝礼等) 10,000 円
	雑 費 3,057 円
	返金 (or 支部・分科会への戻入れ) 63,005 円
合 計 450,000 円	合 計 450,000 円

決算報告書は, 支部 (分科会) 会計後 1 か月以内に応物事務局 教育企画委員会担当宛へ
各支部長・分科会幹事長に CC で共有の上メール添付 (WORD 形式) にてご提出ください (原本不要で
す)。講師謝礼金やアルバイト代については, 支払人数を必ず記載してください。

リフレッシュ理科教室実施報告書 (2/2) (対面実施形式)

下記のとおりご報告いたします。

事業名：リフレッシュ理科教室

新しい理科実験の習得とスキルアップ講座 2021

ー物理的・化学的な事物や現象の理解に役立つモデル教材づくりー

開催日： 2021年 11月 21日 (日)

開催場所 (同じ場所で複数回開催する場合は、日付も複数日ご記入ください)：

岡山理科大学 (〒700-0005 岡山市北区理大町 1-1)

参加者人数 (スタッフ以外の参加者を記述してください)：合計 28名

内訳	① 児童・生徒：	0名
	② 保護者・一般：	14名
	③ 教諭等：	14名(内 中学校教諭 13名, 高校教諭 1名)

(備考)「理科」教科の指導者(予定者を含む)を対象としています。児童および小中高生の参加者を募集しておりません。

特記事項 (委員会での検討や本部への報告書作成のため、各会場の特徴や工夫していることなどについてご記入下さい。)

例：各会場の運営や参加対象などの特徴、教員対象の講演会・講習会、教育委員会との連携、地方公共団体との協力、他の団体との協力など。また、補助金に対する要望事項、他支部でも参考になる事項、良かった点、悪かった点など

【教育委員会および学協会等との連携】

- ① 岡山理科大学 科学ボランティアセンター(大学教育組織)と“共催”することで、会場費を無料にして戴いた。
- ② 岡山県教育委員会、岡山市教育委員会、倉敷市教育委員会および津山市教育委員会からご後援を戴き、各教育委員会所轄の学校長および理科教科主任宛にダイレクトメールを送付することができた。
- ③ 岡山市中学校教育研究会理科部会を通じて、岡山市内の理科教員の皆様へ周知を行った。
- ④ 日本物理教育学会中国四国支部からご後援を戴き、同学会員の参加を募った。
- ⑤ 応用物理学会応用物理教育分科会からご後援を戴き、同分科会会員の参加を募った。

【個人向けの周知活動】

- ① 支部 HP に、開催案内、参加申込情報を掲載し、岡山県内外の個人(教職員および一般参加者)への周知に努めた。
- ② 共催機関のホームページに開催案内を掲載した。
<https://www.ous.ac.jp/event/detail.php?id=170>
- ③ 科学技術振興機構(JST)が運営するJSTサイエンスポータルサイト(HP)に開催案内情報を掲載依頼して、支部内外に向けて周知を行った。
<https://scienceportal.jst.go.jp/events/16204/>

応物本会 HP「過去のリフレッシュ理科教室」への掲載事項 (以下の①, ②から掲載方法をご選択の上, 報告事項(写真等を含む)を御記載ください。適宜, 理事会にも活動報告をさせていただきます。)

「過去のリフレッシュ理科教室」

https://www.jsap.or.jp/refresh/refresh_past

いずれかに○をご記入ください。

① () 上記ページからリンク先の各支部・分科会 HP にて下段写真等を掲載予定

② (○) 上記ページから下段写真等を直接リンク・掲載希望

() ここに掲載する写真等は HP に掲載しても良い内容でお願いいたします。

※肖像権などにご配慮いただき, 後ろから撮影した写真等をご利用ください。

令和3年度リフレッシュ理科教室(第12回岡山会場)を, 対面形式で実施しましたので, その概要をご紹介します。

【岡山会場の目的】

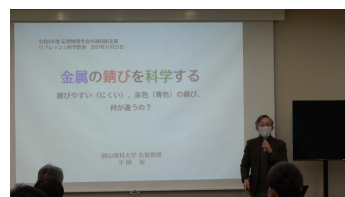
令和3年度リフレッシュ理科教室(第12回岡山会場)では, 学習指導要領の内容を踏まえて, 学校教育における理科教科の授業支援を目指します。

【内容】

本会場は2部構成で実施しました。第一部では, 小中学校はもとより高等学校の理科授業でも役立つ科学談話(応用物理学会が得意とする現代テクノロジーなど)を, 各分野でご活躍中の研究者にご自身の体験等を踏まえてご講演して戴いています。また, 第二部では教育現場の状況に詳しい講師陣をお迎えして, 参加者自身が身近な材料や素材を利用して理科授業のための補助教材の作成に取り組んで戴きます。

令和3年度は, 参加者数は28名(現職教諭14名, 一般14名)が参加されました。教員の皆様の所属は, 中学校教員13名, 小学校0名, 高校1名でした。尚, 岡山会場では「理科」教科の指導者を主対象としておりますので, 児童および小中高生の参加者を募集しておりません。

第一部では, 平岡裕氏(岡山理科大学 名誉教授)による「金属のさびを科学する～さびやすい/さびにくい, 赤色のさび/黒色のさび, 何が違うの?～」と題して, 現代社会に不可欠な金属の“さび”について科学的視点からご講演を戴きました。第二部で3種の理科教材作製実習(テーマ:①重心について考える, ②”光と音”の単元の補助教材について考える, ③液体の濡れ性(撥水性)について測定する)に取り組みました。実習終了後, 参加者全員で今年度の岡山会場の実施内容について意見交換を行い, 本実習で作成した教材が児童生徒の理科への関心を高める役割を果たす等, 授業で学校現場から本企画に対する高いニーズや期待を伺うことができました。



第一部：科学談話会

講師：平岡 裕 氏
(岡山理科大学名誉教授)



第二部：理科教材作製講座

左図 “重心”の理解を深める実習 / 中図 ”光と音”の単元の補助教材作製 / 右図 液体の濡れ性(撥水性)の測定実習

【コロナウィルス感染対策】

本会場では, コロナウィルス感染症対策として, 主に以下の対応をしました。

1) 開場定員の1/2名以下で実施する。2) 開場の入口ドアを開け, 常時, 換気扇を稼働する。3) 手指消毒を実施する。4) 参加者にマスク着用を依頼する。5) 開場を事前事後に除菌する。6) 受付で参加者の体調に留意する。7) スタッフは必要に応じて使い捨て手袋を着用する。

実施報告書は, リフレッシュ理科教室開催後1か月以内に**応物事務局 教育企画委員会担当宛**まで各支部長・分科会幹事長にCCで共有の上メール添付(WORD形式)にてご提出ください(原本不要です)。